

新型コロナウイルス感染症の影響下における 学生のアルバイトについて

2020年7月15日

学生の皆さん

アルバイトについては、新型コロナウイルス感染症への感染の機会を軽減するとともに、自身が感染していた場合の周囲への感染拡大を防止するため、その重要性や必要性などを慎重に判断いただき、遠隔授業期間中は自粛することを求めているところです。

一方で、経済的な事情などにより、アルバイトを継続せざるを得ない学生も一定数存在していると推察されます。生活を維持するためにアルバイトが必要な場合は、アルバイト先が十分な感染防止策を講じているか自分自身でしっかり確認するほか、日頃から毎日検温しそれを記録するなど、自分の健康管理を徹底することが望まれます。

万が一、アルバイト先で感染者が発生したり、自身が濃厚接触者になったときには必ず大学に報告し、指示を受けてください。

なお、**本学では接待を伴う飲食店でのアルバイトを禁止しています。**自身の健康管理や学業への支障が懸念されるため、絶対に避けてください。

○ 感染症に関わるアルバイト先の主なチェックポイント

1) アルバイト先は、新型コロナウイルス感染防止策をしっかりと行っていますか

- 体調管理（体温チェック、風邪症状の有無など）を求められているか。
- 手洗いやうがいを指導され、スタッフ全員が守っているか。
- 工作中、マスクをしているか。
- 休憩時間などにマスクを外し、大勢のスタッフと一緒にお菓子やお弁当などを食べていないか。
- 室内の場合、定期的に換気を行っているか。
- 工作中、人と人との距離が2メートル離れているか。

2) 『3つの密』密閉・密集・密接の濃厚接触環境でないことが確認できていますか

- 換気の悪い密閉空間ではないか。
- 多くの人が密集する場所ではないか。
- 密接した近距離での会話や発声、大きな声で歌うところではないか。

3) すでに集団感染（クラスター）として発表されている場所ではないですか

- 具体的な例としては、たくさんの人が集まる飲食店、カラオケボックス、ライブハウス、立食パーティ会場、展示商談会場、スポーツジムなど